

種

27 K-

三 樂器店

種

以上各


定期出車入
自動車部

二〇〇七番

電本六〇七七
準備定期講習會
月中旬一、二月份除
一日
田產婆學講習會
電本四五四五番

前染二階家屋本
丁目本通り邊に
家具一切共至急


[illegible]

 製作 監修
式典 演出
音楽 監督
八木 康平

八月三日限り
二回一四時
三回一六時
女学生會
と恋の解説ア
はシツクニア
ます。
（第三回）二枚銀
（第四回）一枚銀

 **ドーコレア**

+



部ス

已香
機械
六二名
內保
商會
所
投賣
者

學會
 月餘
 學會
 四五番
 各國本
 力能二
 共至急

學會
 月餘
 學會
 四五番
 各國本
 力能二
 共至急

赤誠進る獻金

一萬圓突破近し

平南軍事救護會の活躍を

全道民舉つて支援

平南軍事救護會の活躍を
全道民舉つて支援
平南軍事救護會の活躍を
全道民舉つて支援
平南軍事救護會の活躍を
全道民舉つて支援

義侠心に訴へるか

最高價格を設定

無茶な鮮魚の暴騰に對し
釜山の有力府議漸く動く

釜山の有力府議漸く動く
無茶な鮮魚の暴騰に對し
釜山の有力府議漸く動く

戦線から義捐金

戦場の兵士に金は要らぬと
平北の水害へ五圓

平北の水害へ五圓
戦場の兵士に金は要らぬと
平北の水害へ五圓

浸水一千五百戸

新義州府外麻田洞の惨状
義州道路は大混雑

義州道路は大混雑
新義州府外麻田洞の惨状
義州道路は大混雑

プロペラ船出動

危険な中の島下端洞住民を
新義州に避難さす

新義州に避難さす
危険な中の島下端洞住民を
新義州に避難さす

盗むにも程度

線路の止め鉄まで外して賣る
危い鐵泥遂にお縄

危い鐵泥遂にお縄
線路の止め鉄まで外して賣る
危い鐵泥遂にお縄

早婚の犠牲

夫毒殺未遂の少女
求刑聴いて泣崩る

求刑聴いて泣崩る
夫毒殺未遂の少女
求刑聴いて泣崩る

牛車暴る

二人を倒し
何れも重傷

何れも重傷
二人を倒し
何れも重傷

元山第一公

十月十日竣工
普大講堂

普大講堂
十月十日竣工
普大講堂

五列車

運轉休止
元州安東間

運轉休止
元州安東間
運轉休止

救済費

十萬圓
道の見込み

道の見込み
十萬圓
道の見込み

鄭忠源警視

平南に榮轉
平南に榮轉

平南に榮轉
鄭忠源警視
平南に榮轉

スーパースト

強力殺虫剤

減全群虫害一

友戦いあ

丸ならぬ美園田井里

全治

お茶は本清元園

飲可不

痛経神スチマイロ

ポンホリン

水む心に

結核療養クラブ

非常時ノ備品

軍隊ラッパ

世界一誇ル吾國唯一ノ製産品

無効返金責任製劑

りん病、こしけ

岩別府淋藥

淋病、消濁の血、イタ、コシケに効あり

新龍山三角地(入院隨意)

西原産婦人科

岩里天然堂

本館 岩里天然堂

花大人

星杉 玲子主演

美空ひばり

大坂東宝

頭痛

チン一服

一服明朗

その爽快味

鉸ンザモル

鉸ンザモル

座金黃

大坂東宝

岩田專太郎畫

要さまと作を死なしてしまふた。

清水の鐵 二二

「要、おのれもか！」
と怒った五郎左衛門は、拳を
握り、お婆の頭を叩いた。西瓜を
叩くやうな音がして、お婆がもの
を云はつた。
「ほう、さうだ、死骸をつれに」
「兄き、お前泣いてゐて済むか
こはお前、泣いてゐる時でね
だらう、考へ度だを兄き」
「ほう、さうだ、死骸をつれに」

「不肖な僕が、一瞬、鰐を喰ふ
と、老妻は低に尻顔になつて、折
れた如く倒れ。」
累合せたものは、四方八方、お
もひおもひに、明くなって逃げた。

不仕合な婆と娘とは、奥向うへ迄お行つて御用ひしてゐるから東へ向うの山姥の武蔵姫の、
 ところで、眞に買物にたがひ、發賣
 ので、買物にやがて、讀書者の
 物にきたりやがて、讀書者の
 この風情が、やがて、讀書者の
 太師匠の案、隠した、太師匠は
 はた魔の世で、四十歳。
 悪いとどめるのか
 知らぬにゐるだぜ
 「何だ、何だア畜三、お前おら
 「何だ、何だア畜三、お前おら
 悪いとどめるのか
 知らぬにゐるだぜ

「けつ、婆さまと七郎が殺された」といふ。

形吉の餘り、氣絶しかけた、女房が驚き倒て、必死と亭主の、蔵事をしろと云ふだけだ」

おら何も、悪い事を勧めねえ、おれを殺され子を殺された男が、子を殺されろと云ふだけだ」



「馬、馬鹿いふない、おらは百姓

「第幾つてどうなつた、お願さんが離りしてくれねえで、だれがこの始末付けるだよ」

「どうでねえよ、武士も百姓も悪いは悪い、善いは善いだ。兄お願がやめなかつたら、おれ一人立き寄つて受けて頼んだ、で、太

「だから云つただ、年寄や子供には危ねえから、行くとやめろが良

いとおら云つたのに、行くもので
で、こんな事になつてはア、おら
どろして良いか判んねえ」と、
と、悲歎と一緒に、くどくどと、
「何をいふだい苗三、そんな事
てみろ、大變だわい、おら今年
厄で悪い年回りだ、この上頭、
と、悲歎と一緒に、くどくどと、

「舍弟を、呼びにやつて相談してくれろ、なあ。お前さん、氣遣と」とが聞いてみる、おらが命無くなるか、この村から出て行くかだ。『氣遣』と云ふこといふでねえ。兄

さねえでくれ、お前さんか落としたら、家の中は開になるだ。い
いかよ、お前さん」

「早くお弟の呼べ」
「すぐ呼んでくるだ」
女房が柱の礎を驚け出す間ふか
者が、遅りたつ治三郎を宥め睡
愛を聞いて、斯付けた村の有
くたへ」

「あな、また、この事になった。」

「兄キ、えらい事になつた！」
たが、太郎兵衛は、代官所へ

弟の顔を見るなり太郎兵衛は、泣き濡れて、
「おう治三か、おら今年が本厄だ
夜が更けるまで、太郎兵衛は
官所から歸るを許さずにゐる
れて行かれた。



ムレクトール

吉屋信子作
富永謙太郎繪

A black and white illustration showing a woman sitting on a bench, looking down with a somber expression. She is wearing a light-colored, short-sleeved top with a dark collar and a dark skirt. A man stands behind her, looking at her. He is wearing a dark jacket over a light shirt. The background features a window with a view of a landscape with trees and a body of water. The style is reminiscent of mid-20th-century magazine illustrations.

浪花節……………木村友忠

慶安太平記

由正書畫が門下生清水八道を連れて
鎌倉の鎌倉寺で参拜しての歸途、
下谷の廣置寺で差しかかると寺の
門前に一人の浪人が逢うたので
正書は「おの浪人を逢うて了つた
に何事かござらぬか」と一足先に歸つて
清水八道が浪人に牛込の正書墨壺
にきてくつゝ頼むと心よく引立てた
ので早速して廣置に付つた
正書はその日は切腹前の祭事と
逢を聞いたばかりで別れた。たゞ
の浪人であつたと見た正書は古川
目黒をひたつた。その夜、舟のよ
つたつて父は轉嫁屋の家の
で自分故郷石堀右衛門の
墓が、知つては母を先刻
後墓に参つた。男の子の
正が成長するにつれて國を
とに正書に出で、彼八道
役は身切つた夫の部下の要
をしてこつた。おひざす

て手によるやうにその要況を

連續講談

8.55
 筑市兵衛の巻
 大島 伯

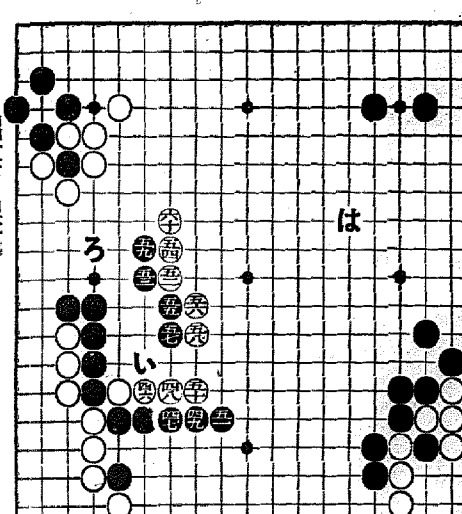
反身の一幕 覆面道人

鮮かな出師

昨日の終末の一手、即ち白四十
六は、先づその附近の黒澤松嶺線
の第一歩だが、又右側の
に倭人の、根張地橋、栗
れ、實に見事な出師ぶり

正了
用三

（5）謹 柑 選 特 日 京

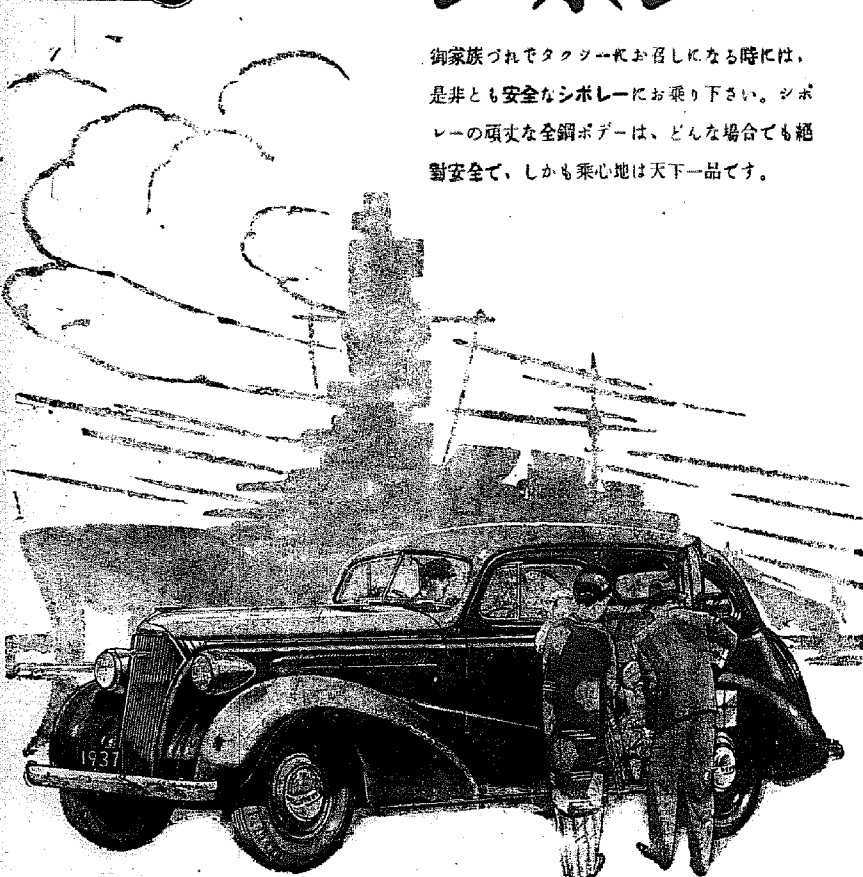


此處で芝居なら
し、し、黒五十二の時、白に五
十二とその白の手に入つて、左
の黒五十五は芝居に包隠され、
度で芝居なら、芝居の通り出る際
もない、と書ける者がねかす丸に
替の一帯……その者があらぬか
群も、白五十二の時、一寸反身
図である。

目的見事達成

其處で黒五十一は、次に白が
十九の點なら、黒五十五と跳
要するに其點から、外郎へ笑臉
要向であるが、白は、
下白六十と、黒五を笑臉に包
し、しかも白の中央面する位
は、笑顔といふ、即ち白四十六の
顔は見事に遷た。

安心して乗れる シボレー



御家族づれでタクシーにお召しになる時には、是非とも安全なシボレーにお乗り下さい。シボレーの頑丈な全鋼ボデーは、どんな場合でも絶対安全で、しかも乗心地は天下一品です。

神戸海上火災

で頭痛の治つた氣持は全くカツ飛ばした**ホームラン**の氣持ですよ

大英 11 課 偽害 自動車 盗難 信用 保険

安川ロケット

は腸胃と痛腹

トンセーバ百力効

店薬地各
りあに

上り
酒澤のて
るも効病に腫
外内して憂鬱念
すで妻妃眠らせ用真に

東京 栄晃川安
堂

本 店
大坂西島立御園町
出 張 所
東京 福岡 名古屋
佐世保 横須賀
帝麻 入 筋 布 衣
消 防 ポ ン
消 防 器 具
角 コム
京都府南大門口
株式 赤尾
京 城 出
電話 本局 2-3

本日自
 演 吳
 被服
 製品
 三頁
 森商店
 張所
 寄 OCHIAIY

八月七日より五日間
 名譽週間
 大衆座十銭均一
 新興人形劇作品
 初島
 依見留子 植村麗子
 新興人形劇作品
 佐賀怪猫傳
 大友柳太郎 鈴木澄子
 北支事變
 ニユース

主 田
 主 郎
 主 子
 主 子

●時間(安住頭談)
○月曜ニユース開始
早朝十一時 至午後
四時、四回放映
朝日世界ニユース
及北支事
變特報
讀賣發聲ニユース
及同上
大海東日國際
ニユース
廿世紀新聞試合ル
イス・ブラドック K
O一
十月の或る日
かんづめ替額

近日開演
東京少女歌劇團
出演幹部連
高松英良竹內マツ子
清水文景保日木喜久
水水衣景保日木喜久
仲笑松屋美麗正久
子子子子子子子子子

京城劇場

(K) 日 活 日 活 日 活 日 活 日 活 日 活 (K)
 八月八日 十三日 六日間 均一制 大人30銭 學生20銭
 朝日世界ニュース
 同本支店變ニユース
 あゝそれなのに
 モロゾク (新装) レビュー パー本頭
 丹下左膳 愛蔵版 花菱 栄子 主演
 毎夜わが光の巻の結晶
 ◎即日連日入場なし午前十時三十分より

日 華 日 活 日 記 楽 喜 日

マネキ竹松

八月七日より上換
七日より時間表

朝	日 ニ ユ ー ス	11:30	3:00	7:00
泣	く な 女 よ	11:45	3:15	7:15
京	日 ニ ユ ー ス	1:05	4:35	8:35
空	駈 け る 戀	1:27	4:57	8:57

座 治 時

近日開演
東京少女歌劇團
出演幹部連
高松英良竹內マリー
正木喜久
春景日本木蘭
羽小一景日木麗正
清清水水仲笑子
子子子子子子子子

京城劇場

演目(日曜)					
	九日より五日間				
北支	事變	ニューズ	2.00	6.40	
新大	花美	大人	2.10	6.50	
時代劇	浮名	賞録	11.30	3.20	8.00
	三味線	秘談	12.40	4.30	9.05
	(第一巻)				
各席全部 大人・学生3割減・小學生2割減					
座金黃					

マネキ竹松			
八月七日より上株		七日より時間表	
朝	日ニユース	11.30	3.00 7.00
泣	く女よ	11.45	3.15 7.15
京	日ニユース	1.05	4.35 8.35
空	駈ける戀	1.27	4.57 8.57

九月より——十一月まで——三日間

まほろしの十手 坂東祐之助・井上久次郎主演

吹けよ戀風 小笠原康二郎・小堀葉子主演

涙華悲歌 山田五十鈴主演

◎大衆席10銭◎毎日正午より三回入替なし

◎米と鮎——十二日より

龍京

十八日(月)より
十一日まで(四日間)
鉄下駄十達均一

脚本・原作・演出 大超アビムロコ
主演 ナンダス ムーエジ
士紳血熱拳 鐵下駄十達均一
脚本 山崎嘉次郎 演出 山崎嘉次郎
主演 大友柳太朗 トドヒサ子
城心赤
脚本・演出 山崎嘉次郎
主演 柳家金語楼 三島雅也
纏番一唄りや木
館中央 監映河幹夫

七月廿一日より開演
萬葉大會
源氏物語の秘蔵書
八木野矢 柳田泉太郎
新作「サヤ」に主演する笑人魚原
鶴賀百穂
二代目辰沢太夫
特別出演
民謡、舞踊・萬籟歩調、音曲・ソノ情等、外五十二巻一

1. 限りなき旅	1.35	4.10	7.15	大人 書後付 五日公開
冷 東日・大河北交野ニューズ 情 国太 平 忠 告 篇				書後付 小 五日公開
房 完	1.20	2.40	5.25 8.30	
2. 南風の丘	12.15	2.55	5.40 8.45	
(リ) ラナー 脚本 ケイ・フランシス ウイ 完 備 ム・ボルの主演) D・C・L・制作				
高田稔・江戸川乱子・高杉秀子主演				

キ、カ、ク

シボレー一社特約販賣店
 南朝鮮自動車會社 京城モータース株式會社
 釜山府東町二丁目 京城府古市町
 電話1379・1056・1864番 電話2595・3644・3927番
 平安自動車會社 光州酒造株式會社
 明洞平壤府南町三八 光州府本町四丁目二九
 電話680・677番 電話光州(長)8・718番
 株式會社立石商店 清津支店
 清津府明洞町三十二
 電話 2619番

御得意様各位

昭和十二年七月廿九日

日本シボレーモータース株式會社

謹告

弊社ハ緊迫セル時局ニ鑑ミ
 此際弊社製自動車販賣價格
 ヲ特別ノ事情アラザル限リ
 値上ゲ致サザルコトニ決定
 致シマシタカラ何卒今後共
 宜敷御引立ノ程願上ゲマス
 右謹告致シマス

<p>1. 限りなき旅 1.30 4.10 7.15 大友柳太朗・宇野重吉・ユースケ・カネトキ 冷 東 日 本 記 憶 告 白 岡 田 豊 子 主 演</p> <p>2. 南風の丘 12.15 2.55 5.40 8.45 ケイ・フランシス ウィリアム・ボウル主演 島田裕子・江戸川晴子・島崎雪子主演</p>	<p>七月二十一日より開演 萬歳大会 匠師高橋盛保持者 入 大 締 柳込源太 所 笑 七 柳 子 芝 葉 子 芝 葉 子 る 美 人 風 姿 鶴 賀 百 花 龍 二代目辰田源太 氏 諸 舞 師・風 姿 形 演 音 曲・シヤズ 舞 舞 外 五 十 銭 均 一</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------